

年間計画を策定

～重点調査項目を決定～

総務厚生委員会

5月22日、6月16日に総務厚生委員会を開催し、「平成28年度の主要事業の実績状況」、「平成29年度の主要事業の概要及び課題等」について、総務部・民生部から説明を受けました。「交通輸送対策事業」、「定住促進拠点施設整備事業」、「町制100周年記念事業」、「国民健康保険事業」、「介護保険事業」、「保育所運営事業」等について質疑を行いました。

また、今年度の活動計画を策定し、重点調査項目を決定しました。今後は、この活動計画に沿って重要調査項目を中心に事務調査を推進していきます。

国民健康保険・介護保険については、委員会の枠をこえて、勉強会を開催する意見が出るなど、議員の資質向上に努めています。

●重点調査項目

(1) 熊野町観光交流拠点整備構想計画について
観光交流拠点整備については、町の重要な観光拠点づくり整備であることから、色々な可能性を模索しながら調査、研究を重ね、委員会としての意見のとりまとめを行います。



▲ 筆の里工房周辺を観光交流拠点として整備

(2) 熊野町子ども・子育て支援事業計画について

国において、「出生率の減少による少子化」への対策として法の整備等が日まぐるしく行われています。本町においても、「熊野町子ども・子育て支援事業計画」が策定されており、計画に基づく出生数の低下やライフスタイルの多様化等に対する子育て支援施策の方向性について調査、研究を行います。



▲ 西部地域健康センター（子育て支援センター）



▲ 新たに設置された子育て世代包括支援センター

今後、委員会として追求型から問題解決提案型の委員会を目指していきます。具体的には、委員会において、町政の中長期的な課題を設定し、議論、調査を重ね、最終的に町側へ政策提言を行うことを目標として委員会を運営していきます。

Q 中央地域（呉地・出来庭・中溝・萩原・城之堀）の公園の現状と計画は



竹爪 憲吾 議員

A 〈町長〉

他の地域に比べ少ない。筆の里工房周辺の整備後に検討したい。

- 〔Q1〕 現在、町が管理している中央、東部、西部地域の公園の数は。
 - 〔A1〕 中央は18カ所、東部7カ所、西部16カ所。
- 〔Q2〕 中央地域の公園設置の計画は。
 - 〔A2〕 筆の里工房周辺に約4ヘクタールの公園整備計画を進めている。
- 〔Q3〕 中央地域の住宅建築の推移は。
 - 〔A3〕 平成25年度から平成28年度まで、49件、53件、56件、60件と年々増加している。
- 〔Q4〕 中央地域は1人当たりの公園面積はどれくらいか。ほかの地域は。
 - 〔A4〕 中央0.9、東部16.7、西部3.5
- 〔Q5〕 各地域の住宅建築数は。そのうち子育て助成金を利用された方はどのくらいか。
 - 〔A5〕 4年間で、中央は218件に対し179件82%、東部30件中18件60%、西部129件中92件71%の方が利用。
- 〔Q6〕 中央地域では熊野町へ定住する子育て世代の方が増加していて、家の近くに身近な公園が必要と思われる。今後このような公園を整備してもらえないか。
 - 〔A6〕 現在は、筆の里工房周辺の公園整備事業に注力させてもらいたい。
- 〔Q7〕 完了後すぐに整備できるような計画を進めてもらえないか。
 - 〔A7〕 検討していきたい。

議会 豆知識



全員協議会（略して全協）って？

4年ごとの選挙に立候補し、町民から選ばれた16名の議員が「町長が提案する議案」の審査や、議会運営の協議をする会のことです。各議員と町民との約束を実現するため、また、議員間の意見交換を行う良識の場でもあります。

●進め方

- ① 議長が議会運営委員と相談して招集します。
- ② 法定会議で、概要・出席議員氏名など記録に残します。議長の判断で傍聴もできます。
- ③ 必要に応じ、町長ほか職員・行政委員も出席します。

●具体的には

- ① 議会独自の協議又は意見調整を行います。
- ② 本会議の審議に伴う協議又は意見調整を行います。
- ③ 町長による事前説明及び意見の聴取を行います。本会議や委員会と同様の実質審議はしない。

